

1 審査対象		
人を対象とする医学系研究		
2 課題名		
薬剤師及び臨床検査技師による院内急変対応への介入と評価		
3 責任医師 (者)	職名 薬剤師	氏名：中谷亮介
協力医師 (者)	職名 薬剤部長	氏名：松本篤
協力医師 (者)	職名 主任薬剤師	氏名：満田正樹
協力医師 (者)	職名 中央検査部長	氏名：谷川直人
協力医師 (者)	職名 看護師	氏名：早田修平
4 概要 (具体的に記載すること)		
(1) 目的		
院内緊急コール発令時の現場対応に対して薬剤師及び臨床検査技師の介入を行っている。介入した症例について調査を行い、薬剤師及び臨床検査技師の院内急変対応への介入が有用であるかを評価する。		
(2) 対象及び方法		
院内緊急コール発令患者の患者情報を電子カルテを用いて調査する。(後ろ向き観察研究)		
(3) 実施場所及び実施期間		
電子カルテにて患者情報を調査 (2016年12月以降の院内緊急コール発令患者)		
(4) 審査を希望する理由		
薬剤師及び臨床検査技師による介入の有用性を評価し日本臨床救急医学会雑誌に論文投稿する予定であり、患者情報を利用するため審査を希望する。		
5 実施計画の医療行為等における倫理的配慮について		
[※(1)～(3)は必ず記入のこと]		
(1) 対象者の人権擁護		
特定の個人が識別できないよう氏名、生年月日、検査値等は匿名化しデータ処理を行う。		
(2) 対象者に理解を求め同意を得る方法		
介入および侵襲はなく、診療情報のみを用いる後ろ向き観察研究であることからオプトアウトとし、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は削除する。		

(3) 対象者への不利益及び危険性
特になし

(4) 予測される医学的貢献
院内急変対応への取り組み例を公表することで他施設での院内急変対応の質の向上につながる

(5) その他